

外装用 低汚染弱溶剤2液型ポリウレタン樹脂塗料



(社) 日本塗料工業会登録	
登録番号	M03043
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆
問い合わせ先	http://www.toryo.or.jp

マイルドU・マイルドU 弾性

MILD U・MILD U DANSEI

より美しく...より快適に...

マイルドU・マイルドU弾性は、幅広い下地に適合し、作業性も優れています。
またポリウレタン樹脂の塗膜は、耐候性・耐汚染性に優れ、長期にわたり美観を保持します。

特長

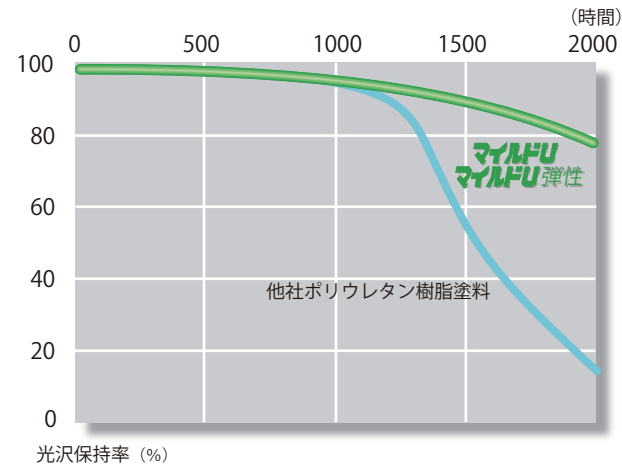
- 低汚染性** 2液型ポリウレタン樹脂の結合力が、汚れにくく耐久性のよい塗膜を形成し、優れた耐汚染性、耐候性、耐アルカリ性を発揮します。
- 高耐候性**
- 防カビ・防藻性** 水溶性成分を含まないため、優れた防カビ・防藻性を発揮します。
- 幅広い素材に適用** 下塗りを変えることで、金属系素材、窯業系素材ともに適合します。
- 塗り替えに最適** 弱溶剤系で、新築はもとより、耐溶剤性の悪い旧塗膜の塗り替えにも最適です。
- 優れた作業性** 溶剤系の塗料に比べ臭気が少なく、作業環境や塗装作業性に優れています。

用途

- 窯業系素材** 窯業系サイディングボード、各種仕上げ材の塗り替え塗装
新設、および無塗装のコンクリート・モルタル面の塗装
- 金属系素材** 金属系サイディングボード 鋼構造物 鉄部 亜鉛引き鉄板
その他、非鉄金属面（亜鉛、ステンレス、アルミ等）への塗装

性能

■促進耐候性試験(キセノンランプ法)



■塗膜性能

窯業系屋根材の場合

試験項目	評価方法	試験結果
鏡面光沢度	JIS K5600 (60度)	80
付着性	JIS K5600 (クロスカット法 2mm幅)	分類0
耐液体性	JIS K5600 (水道水 浸せき法) 23℃×7日間	異常なし
	JIS K5600 (水酸化ナトリウム5%水溶液 浸せき法) 23℃×7日間	異常なし
耐凍融解凍性	JIS K5600 (硫酸5%水溶液 浸せき法) 23℃×7日間	異常なし
	JIS K5600 (23℃×18h浸せき/-20℃×3h/50℃×3h)10サイクル	異常なし
凍結融解凍性	-20℃×16h浸せき/23℃×8h浸せき10サイクル	異常なし
促進耐候性	キセノンランプ促進耐候性試験 1500h	保持率85% 色差ΔE 0.35
耐候性	垂直式屋外暴露試験 大阪 24ヶ月	保持率88% 色差ΔE 2.00
ひっかき硬度	JIS K5600 (鉛筆すり傷法)	硬質B~HB 弾性3B~B

試験塗板：スレート板 乾燥条件：23℃×7日間
※下塗り材としてマイルド浸透シーラーを塗付しています。

金属系屋根材の場合

試験項目	評価方法	試験結果
鏡面光沢度	JIS K5600 (60度)	84
耐おもり落下性	JIS K5600 (デュボン式 1kg×50cm×1/2φ)	異常なし
付着性	JIS K5600 (クロスカット法 1mm幅)	分類0
耐屈曲性	JIS K5600 (円筒形マンドレル法)	2mm
ひっかき硬度	JIS K5600 (鉛筆すり傷法)	硬質B~HB 弾性3B~B
耐中性塩水噴霧性	JIS K5600 ソルトスプレー試験機 500h	異常なし
耐結露白化性	塗装2h後、結露24h試験、2h後、目視判定	異常なし

試験塗板：冷間圧延鋼板(鉄板) 乾燥条件：23℃×7日間
※下塗り材としてRMプライマーを塗付しています。

荷姿

マイルドU・マイルドU弾性	15kgセット [主剤 13.5kg 硬化剤 1.5kg(硬質タイプ、弾性タイプ)] 4kgセット [主剤 3.6kg 硬化剤 0.4kg(硬質タイプ、弾性タイプ)]
リフレッシュフィラー	16kg
2液マイルドウォールシーラー	11kgセット [主剤 10kg 硬化剤 1kg]
RMプライマー	15kgセット [主剤 14kg 硬化剤 1kg] 常備色3色：グレー(日塗工N-55程度)、赤さび(日塗工09-40L程度)、白、黒
RMシンナー	16L・4L ※シンナーはA(春秋型)、S(夏型)、W(冬型)、W速乾用があります。

窯業系素材

■平滑仕上げ、下地パターンを変えない場合

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗回数 (回)	塗分量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。									
下塗り	2液マイルドウォールシーラー 主剤10kg 硬化剤1kg	既調合	ハケ・ローラー エアレス	1 (~2)	0.1~0.15 ^{※1}	73~110	10h以内	(4h以上)	5h以上 7日以内	—

上塗り	マイルドFU 主剤13.5kg 硬化剤1.5kg	1~3L (RM5シンナー) 4~5L (RM5シンナー)	ハケ・ローラー	2	0.12~0.14	54~63	6h以内	2h以上 10日以内	—	16h以上
			エアレス							
上塗り	マイルドFU弾性 主剤13.5kg 硬化剤1.5kg	1~3L (RM5シンナー) 4~5L (RM5シンナー)	ハケ・ローラー	2	0.12~0.14	54~63	6h以内	2h以上 10日以内	—	16h以上
			エアレス							

※塗分量にシンナーは含まれていません。塗分量は条件により増減します。
 ※1 下地の吸い込みが強い場合は、2液マイルドウォールシーラーを2回塗り、もしくは「リフレッシュサフェーサーエポ」を塗装してください。
 ※旧塗膜の種類(耐溶剤性が著しく弱い)や付着状態によってはリフティングが発生する場合があります。

■さざ波模様仕上げ、下地調整を必要とする場合 (窯業系サイディングボードへの施工は避けてください。)

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗回数 (回)	塗分量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ほこり、苔、カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。									
中塗り	リフレッシュファイラー 16kg	0.2~0.5kg (希釈水)	砂骨ローラー	1	0.8~1.5	11~20	—	—	16h以上	—
		0.5~1.0kg (希釈水)	中毛ウルローラー		0.3~0.5	32~53				

上塗り	マイルドFU 主剤13.5kg 硬化剤1.5kg	1~3L (RM5シンナー) 4~5L (RM5シンナー)	ハケ・ローラー	2	0.12~0.14	54~63	6h以内	2h以上 10日以内	—	16h以上
			エアレス							
上塗り	マイルドFU弾性 主剤13.5kg 硬化剤1.5kg	1~3L (RM5シンナー) 4~5L (RM5シンナー)	ハケ・ローラー	2	0.12~0.14	54~63	6h以内	2h以上 10日以内	—	16h以上
			エアレス							

※塗分量にシンナー、希釈水は含まれていません。塗分量は条件により増減します。
 ※下地の劣化が著しい場合は、2液マイルドウォールシーラーを塗装してください。

金属系素材

■平滑仕上げ

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗回数 (回)	塗分量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	さびの発生が進行していたり、割れ、はがれ等のある場合は、3種ケレンによりさびや死膜を除去する。その後、清掃、乾燥させてから塗装する。									
下塗り	RMプライマー 主剤14kg 硬化剤1kg	1~2.5L (RM5シンナー)	ハケ・ローラー	1	0.11~0.15	100~136	4h以内	—	4h以上 10日以内	—
		2.5~5L (RM5シンナー)	エアレス		0.15~0.17	88~100				

上塗り	マイルドFU 主剤13.5kg 硬化剤1.5kg	1~3L (RM5シンナー) 4~5L (RM5シンナー)	ハケ・ローラー	2	0.12~0.14	54~63	6h以内	2h以上 10日以内	—	16h以上
			エアレス							

※塗分量にシンナーは含まれていません。塗分量は条件により増減します。
 ※さびの発生が著しい場合は、エポックマイルド #2000を塗装してください。

■平滑仕上げ：新設、および無塗装のコンクリート・モルタル面の塗装

工程	使用塗料	希釈割合	塗装方法	塗回数 (回)	塗分量 (kg/m ² /回)	塗面積 (m ² /缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔 (23℃)		
								工程内	工程間	最終養生
素地調整	モルタル・PC・RCサイディングボード等の下地に付着しているレタンス・土砂・ほこり・油脂類は除去し、水分率8%以下、pH10以下に管理する。欠け、不陸部分は樹脂モルタルであらかじめ補修する。									
下塗り	2液マイルドウォールシーラー 主剤10kg 硬化剤1kg	既調合	ハケ・ローラー	1	0.1~0.15 ^{※1}	73~110	10h以内	(4h以上)	5h以上 7日以内	—

上塗り	マイルドFU 主剤13.5kg 硬化剤1.5kg	1~3L (RM5シンナー) 4~5L (RM5シンナー)	ハケ・ローラー	2	0.12~0.14	54~63	6h以内	2h以上 10日以内	—	16h以上
			エアレス							

※塗分量にシンナーは含まれていません。塗分量は条件により増減します。
 ※1 下地の吸い込みが強い場合は、2液マイルドウォールシーラーを2回塗りしてください。

注意事項

【仕様全般】

- 降雨、降雪・強風が予想される時や高湿度(80%以上)、低気圧(5℃以下)の場合は施工を避けてください。高湿度・低気圧で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などに当たると艶付けを起すおそれがあります。
- 塗装後、降雨や結露等で白化した場合は、目荒らしを行って再度塗装してください。
- 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
- 水洗後、1日以上の乾燥を行ってください。
- 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄すぎは隠れい不足・仕上がり不良等が起りますのでご注意ください。
- 塗装間隔は標準であり、気象条件や気象条件により異なります。
- ハケ塗り仕上げとローラー塗り仕上げが混在する場合は、塗分量・表面積が異なるために若干の色相差がでますが、ハケ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラーは同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相異なって見えることがあります。
- シーリング塗料の場合、塗料の飛散による汚染の可能性がありますので、必ず養生してください。
- ガラス・アルミサッシ等に付着した場合は、すぐにエタノールを水を含みだまらせて取り除いてください。乾いた時は、ラッカーシンナーでふき取ってください。
- 酸洗を行う場合は、水をかけた後に行い、その後の水洗は念入りに行ってください。
- 著しく劣化したサイディング材へ塗装すると意匠性があまります。塗装は避けてください。
- 1回目の上塗り塗装時に、吸い込みが大きく、塗料が表面に残らない場合は、再度塗装してください。(合計3回塗りで行ってください)
- 目地部が深い場合は、目地ハケなどで塗装してください。
- 目地部に塗料がたまった場合や、たれが発生した場合はむら切りしてください。
- 塗装時には換気口等に養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないようにしてください。
- 塗料や塗料取り扱いは、換気に気を付け換気扇としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
- 補修部分や目立つところなど、艶付けを起すおそれがあります。試し塗りの上、本施工に入ってください。
- 汚れ・傷等により補修が必要な場合がありますので、使用塗料の残量は取って置き、同一ロット・同一塗装方法で補修してください。
- 防カビ・防藻性については、下地の条件・塗装の条件・塗装前処理の程度により、カビや藻が発生する可能性があります。
- シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗料の汚染・剥離・取崩れ等の不具合を起すことがあるため、基本的には行わないでください。やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプをご使用ください。
- 排水溝には捨てないでください。
- 経年劣化したサイディングボード面への塗装は、表面劣化部から剥離する場合があります。試験施工を行って付着性を確認の上、本施工に入ってください。
- 光沢が残っているなど劣化していない塗膜に塗装する場合は、目荒らしを行ってください。
- 濃色や原色に近い色彩の場合、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが触れる可能性がある部位への塗装は避けてください。
- 上塗りにイエロー、レッド、ブルー、グリーン系など、彩度の高い色目を塗装する場合は、隠れい性を高めるため、隠れいの良い灰色色であらかじめ養生を行ってください。
- 艶調整品は、被塗物の形状・膜厚や色目、塗回数、希釈率の差などにより、実際の艶と若干異なって見える場合があります。特に、ハケ・ローラー塗装時に塗り厚調整品を多く塗ると艶が落ちて見えます。試し塗りの上、本施工に入ってください。
- 化学物質過敏症の原因は、塗料に含まれている化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
- 塗料による臭気、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、製品安全データシート(SDS)をご参照ください。

【塗料に関する注意】

- 艶消し塗装される場合は、当社営業担当にご相談ください。
- 使用前には充分攪拌してください。
- 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開封後は充分ご注意ください。
- 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。(専用シンナーをご使用ください。)
- 2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の割合で混合し、マゼール等で充分攪拌してください。
- 2液型塗料は、塗料毎の可使用時間内に塗装してください。
- 2液型塗料は気温が高い場合塗膜に可使用時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
- 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色付き・色違いや硬化不良等の原因となります。
- 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適合しないものもありますので、必ず専用シンナーをご使用ください。
- 硬化剤はイソシアネートを含有しているため、蒸気・ミスト等を吸い込まないようにしてください。また、皮膚に付着しないように充分ご注意ください。
- ローラー塗装時、環境に応じて巻き込みが発生する場合がありますので、「マイルド用ローラー調整剤」を主剤1缶に対して100cc(100ml)添加してください。
- 溶剤系塗料に使用するハケ・ローラーは、溶剤系専用のものをご使用ください。
- 溶剤系塗料に使用したハケ・ローラーの洗浄には、ラッカーシンナーまたはアクリルシンナーをご使用ください。
- 2液型塗料は、主剤と硬化剤は別々に密栓冷所に保管してください。また、開封時は早目に使い切ってください。
- 材料の保管・取り扱いには消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。



水谷ペイント株式会社
 大阪市淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151
 東京・北関東・中部・大阪・広島・福岡・仙台・札幌
 カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
 OND2005